



No.11

前略

私は新幹線の技術研究を行
っている者です。今回公聴会が開
かれるとのことで公述人として参加
させて頂いた。ただ、きたく筆をとりまし
た。料金については技術面か
ら妥当であると思えます。

今まで石川県では技術面では
あまり県民に知らされていません
が青森県などは「県政のあゆみ」
「県民だよりあおもり」などでくわしく
説明しています。

(公述時間は10分以内です。)

NO.2

北陸新幹線は他の新幹線

と根本的に違う点を県民に知らせ

る必要があると思います。これは

今までより高所を走ることで

例えば群馬県の安中榛名駅

は標高282m に対して次の駅

の軽井沢駅は標高940m ころ

を登るのに30パーセントを採用して

います。パーセントでは3% (上越

新幹線などは15パーセント以下

です。) それには半道体(工C、

LSI など)による車両の高性能化

No.3

によるもので、モーターは周波数で制御装置(インバーター)の採用化によるものですが、坂を登るには平地と比べてエネルギーの消費はあたりまえで暖気代も多くかかるのです。それに高い場所は気温も低く特に冬期間には系統路を切換えるポイントの融雪にボイラによる加熱(温水循環)などで平地と比べると15%ぐらい多く灯油、重油(A)を消費します。その他にも架線、パンダグラフの

NO.4

いたみも多くなります。以上の
ようにランニングコストが多く
かかることから料金について
は他の新幹線系統と比較する
のは適当でないと思います。

希野 長野駅 標高約 390m

以後上越妙高駅手前(高崎駅
桌約170kmまで)標高の高リ

所を通ります。公述人について
は大学教授などが選ばれる場

合が多いのですが一般の人の意見
も取り入れて下さい。お願致します。

TEL

掛作 克夫 (73才)